

117
A5078

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

大行設立ノ舉タル固ヨリ同志諸君ノ賛成ニ因
テ決行セル所ナレハ其設立旨趣ノ如キ復テ手
力贅沐ヲ待タスト至氏新入^{ノ社員ハ}各地ニ離隔
セル社員ノ如キ或ハ其旨趣通達セサルモアラコ
テ進捗スト至氏其媒人タル貨幣ノ如キハ從來慣
習ニ沿リ單ニ洋銀一種ヲ通用シ其間或ハ内國
貨幣ヲ交ヘ用フト至氏僅カニ貨物ト同一般作用

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

ヲナスカ如キ貿易權衡未其宜キヲ得ル能ハス
然ルニ彼ノ歐米諸國ノ如キ商賈間ハ貨幣流通ノ
便缺クル所ナク加フルニ盛大ナルバンクノ如キ有ラシカ
翼ニラナスヲ以テ貿易ノ上ニ勢力ハ自カラ彼ニ偏重シ
銀價昇降ノ權ノ如キ常ニ彼ノ掌握スル所トナレリ
我商人ノ其壓制ヲ受ケ壟斷ノ利ヲ私セラルモノ
固ヨリ已ラ得サル勢ト云フヘシ加之内外投機者
ノ其間ニ出沒スル^シ虛價ノ昇降ヲ擅ニシ商賈ノ心
ヲ攪乱スルヲ以テ其幣害ノ市場ニ影響スルモノ殆ド底
止スル所ナカラントス其原因ハ固ヨリ一端ナラストモ

氏要スルニ内國金融便缺クル所アルニ坐スルナリ雖
然後前ノ如キ市場通用洋銀一種ニ止マル日左
テハ亦得已ラ得サル次第ナレ既已ニ我政府ノ貿易
銀ヲ發行セラレ内外一般洋銀ト相並行スルヲ得ル今
日ニ至テハ金銀行設立ノ舉復一日モ遲ニスヘカラサル
ナリ是我々金銀行設立ノ舉ナル所以ナリ
一方今貿易市場ノ大患タル金銀^{不融通}ノ如キ其
救済ノ方法獨府ノ錯置ニ之レ依頼シ徒ラニ傍觀
批議ス^キニ非ス各有方者ノ宜シク躬ツカラ負擔シテ
其方法ヲ求ムヘキ義務タリ然レモ人々各自ニ其

方法ヲ思考シ其心カラカスルノミニシテ之ヲ糾合統一
スル所ナケレハ畢竟徒勞多クシテ救済實効ヲ奏ス
ル能ハサルベシ我々金銀行ノ設立セカウサルニナリ
一救済ノ方法^{ニ於テ}其^{必要}事務タルハ正金銀ニ蓄
積シテ其^不補^不フヨリ急ナルハナシ然レハ只官^官此
地方^{地方}ニ收拾^{シテ}目前^不補^不ラ補^不ント欲スルモ真^真實^實ノ
増殖ヲ得ルニ非レハ恰モ右手ノ有餘ヲ^移テ左手ノ不足
ヲ補フニ異ナラカレシ故ニ廣ク之ヲ^{四方}各地ニ徵集^集其
各所^{各所}ニ散在^{埋没}スルモノヲ^出出シ安^安實際^{實際}増殖ヲ
^得得ルヲ以テ第一^{第一}ノ緊要トナス^シ此事業タル一二有

志者、私舉ラ以テ成^成スヘキニ非ス必スマ政府ノ允可ヲ
得確乎タル一會社ノカラ以テスルニ非レハ其實効ヲ
奏スル能ハサル^ハ是^是我々金銀行ノ設立セカウカラ
サルニナリ
一各地^{各地}ニ散在セル金銀ヲ^所所ニ聚^聚ルハ益其外
出ヲ得ス^媒媒介ヲラシムラ^事事心フルモノアリ或ハ心
銀ノ賣買買ニ從事スルモノト誤認スルモノア
リト^虫虫トモ吾輩^輩車ノ目途ハ毫モ此等ノ事
業ヲナスノ旨趣ニテラス之ヲ約言スルハ單
ニ市場融通ノ便利ヲ助ケ^救救濟人々

外國商人^{ラシテ其利} 權^ヲ 擅^{ニセシメサル} 外ナラス譬へ
ハ輸入品超過シ通貨^貨 欲^{スル} ハ所有銀貨
ヲ賣出シ其不足ヲ補^フ 輸出品超過シ通貨
有餘^ラ 生^{スル} ハ之ヲ收入シテ甚^ニ 過^シ 不及ナラ
シハ類ナリ故此銀行ハ金銀ハ之ヲ買賣スル
ニ非^ズ 之ヲ費散スルニ非^ズ 時々之ヲ賣出シ隨^ニ 之
ヲ收復スル^{ノミナレハ} 常ニ往來循環シテ^{永遠ニ} 現在
スルヲ得ルナリ 如此安全堅固ナル事情ヲ認定
スル^{ハ後ハ} 銀行^ノ 爲^ニ 論^ス べき 世^ハ 間^ニ 亦^ハ 其^ノ 長^キ 所^ニ 在^リ
銀ヲ貯蓄セント欲スルモノ其各自ノ庫中ニ蔵ス

ルモノヲ移シテ此銀行ニ委託^ス 凡^レ 持^ル 自家保護^ノ
勞^ヲ 省^キ 之ヲ活用シテ幾分利益ヲ收ル^ノ 便
ヲ得^ル 如此ナル時ハ自^ラ 國^ノ 金銀ヲ保全
増殖シタルノ一助タルベシ 我^レ 之^ノ 銀行設立
セサル^ハ カ^ラ 四ナリ
一前名ニ本^ル カ^ク 本行^ノ 事業^ハ 直接ニ金^ノ 買
賣ニ從事シ相庭域内ニ干渉スルニ非^ズ 其^ノ 市
場^ノ 融通ヲ助ケ其^ノ 平均ヲ少ナスルヲ以テ自カ
ラ口銀相場ニ幾分影響ヲナシ前日^ノ 如キ
投機者^ノ 構造セル虚勢^ヲ 昇降ニ因テ瞬息

間ニ全国金銀價格ヲ變動シ之レカ為ノ吾
人亦甚中ノ富モ一時ニ増減輕重ヲナスカ如キ非
常現象ハ自カラ有息スルニ至ルヘシ之ヲ以テ
之ヲ觀ル銀貨騰貴^{相場}弊害ヲ防止スルノ事
ニ於テ亦多ク裨益ナキニ非ル^{故ニ}我々金銀
ノ設^設ヲセサル可カラサル五ナリ

以上條陳スル所ノモハ固ヨリ我々軍カ期望ス
ル日趣ノ概畧ニシテ貿易ノ便宜ヲ謀リ市
場ノ患害ヲ救ハント欲スル其業タル固ヨリ大
ニ其方^方亦多ク^{故ニ}其得失利害ノ如キ亦其地

ト時トニ隨テ其事情ヲ異ニスル^{類枚舉スヘカラス}公衆
ノ智カラ集ムルニ非ル安ソ^能其^完全ヲ得ニヤ故ニ
我々軍ハ實ニ其^部見^テ其^實情^ヲ同社諸君
ノ常ニ世上形勢ノ如何ト本行營業ノ實況
トニ注目シ時々來會シテ其^所見^ヲ吐露シ
其論議盡サレ^テラ切望スルノミ

或曰此銀行ノ設立ハ銀貨ノ騰貴ヲ防ント欲ス
ル目的ナルヘシト云氏固^此銀貨ノ騰貴ノ源
因ハ他故固ヨリ他ノ故アルニ非ス市場紙幣
ノ多キニ因ルモノナレハ之ヲ防クハ貨幣數
ヲ減省スルノ外ナカルヘシト此論旨タル其理アル
カ如シト云氏顧ミテ^其實際際ニ質スレハ亦未
信ス可ラサルモナリ何トナレハ此論者ノ見ル所
ト果シテ其言フ所ノ如クナラシメテ盡ソ自ツカラ
銀貨ノ賣買ニ從事シテ巨利ヲ一舉ニ攫
セサルヤ然ルニ當リテ之ヲ實行スルコトナキハ是

亦席上ノ空論タル知ルヘシ我輩ハ銀貨ノ
騰貴ヲ防クカ爲メ此銀行ヲ設立スルニ非
レ其騰貴スル所以ノ根理ハ敢テ論スル所ニ
非ルナリ

一或曰正金銀行設立ノ舉タル固ヨリ貿易市場
欠クヘカラルサル要件ニシテ今日一大急務
ト云フヘシ然レ凡事ヲナスノ利害ハ其人ヲ
得ルト得サルトニ在リ今此銀行ノ設立ヲ見ルニ
此大事業ニ適當ナル活潑有爲ノ人幹ナリ
キモノ如シト思ハ實ニ的功ノ名言ト云ハ大
事ナルモ固ヨリ非常ノ才幹ナカルヘカラス吾輩
發起者ノ如キ固ヨリ其材ヲ以テ自ラ居ルモノ
ニ非スト云凡本行ノ目的タル前条ニ示ルカ如ク

安全堅固ヲ以テ主トスルモノナレハ寧^{活潑}口進^取

ノ氣象ニ之キモ持^保重ノ力餘^實アルニ如カサルハシ

今其堅固^樸様^實一刃ニ就^テテ之ヲ論セハ五

同社諸人^{如キハ}固^固リ世^世人^人ノ所^所知^知スル^ス事^事ナ^ナリ

多^多ク^クシ^シル^ル事^事ナ^ナリ^リ日^日足^足我^我軍^軍力

努^努鈍^鈍ヲ^ヲ避^避ケ^ケス^ス創^創立^立ノ^ノ舉^舉卒^卒ニ^ニ後^後事^事ス^スル^ル所^所以^以ナ

リ其^其偉^偉績^績ヲ^ヲ前^前途^途ニ^ニ成^成シ^シ善^善言^言ヲ^ヲ他^他日^日ニ^ニ収^収ル

カ^カ如^如キ^キハ^ハ固^固ヨ^ヨリ^リ後^後来^来ノ^ノ才^才俊^俊ヲ^ヲ待^待ツ^ツノ^ノミ